

授業計画（シラバス）

教育内容	専門分野 小児看護学				
科目名	小児看護学概論	対象学年	2年生		
単位（時間数）	2単位（32時間）	講義時間	30時間	試験時間	2時間
講師名	基幹教員	実務経験	臨床看護師		
学習目標	1) 小児看護の対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。 2) 小児看護の理念、子どもの権利を尊重するための考え方を理解する。 3) 子どもの成長発達を支援する看護を理解する。 4) 子どもを取り巻く社会の現状を理解し、小児看護の課題を考えることができる。				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1	小児看護の特徴と理念 小児看護の変遷 子どもの権利 知的機能の発達（ピアジェ） 情緒・社会性の発達（エリクソン）	講義	教科書 資料
2・3	成長発達の原則 子どもの成長発達（乳児期・幼児期）	講義 GW	教科書 資料 PC
4	子どもの成長発達（乳児期・幼児期）発表	GW	教科書 PC
5	子どもの遊びの意義 子どもの安全な環境、事故防止	講義	教科書
6	基本的生活習慣の獲得（食・排泄・睡眠・清潔・衣） 子どもの栄養の特徴	講義 演習	教科書 資料
7	子どもの成長発達（学童期、思春期）	講義	教科書
8・9	実習用名札づくり	演習	資料
10・11	乳幼児期の発達のまとめ	演習	教科書
12	乳幼児の生活の観察（実習に向けて） （着目するポイント、月齢の差）	演習	教科書 資料
13	実習の振り返り 乳幼児の理解（基本的生活習慣とかかわり）	講義 GW	教科書 実習記録
14	子育ての環境 子どもを取り巻く環境の変化と諸問題	講義	教科書 資料

授業計画（シラバス）

15	試験対策		
16	終講試験		
教科書	系統看護学講座専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論		
参考図書	よくわかる認知発達とその支援、看護のための人間発達学、他		
評価方法	終講試験、授業態度（出欠、GW への貢献、個人ワークへの取り組み）		